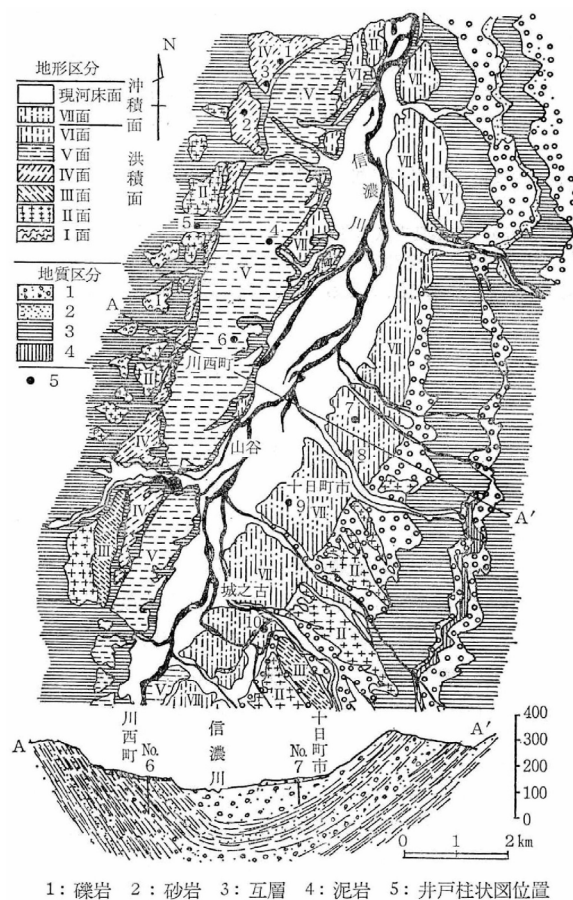


地形・地質

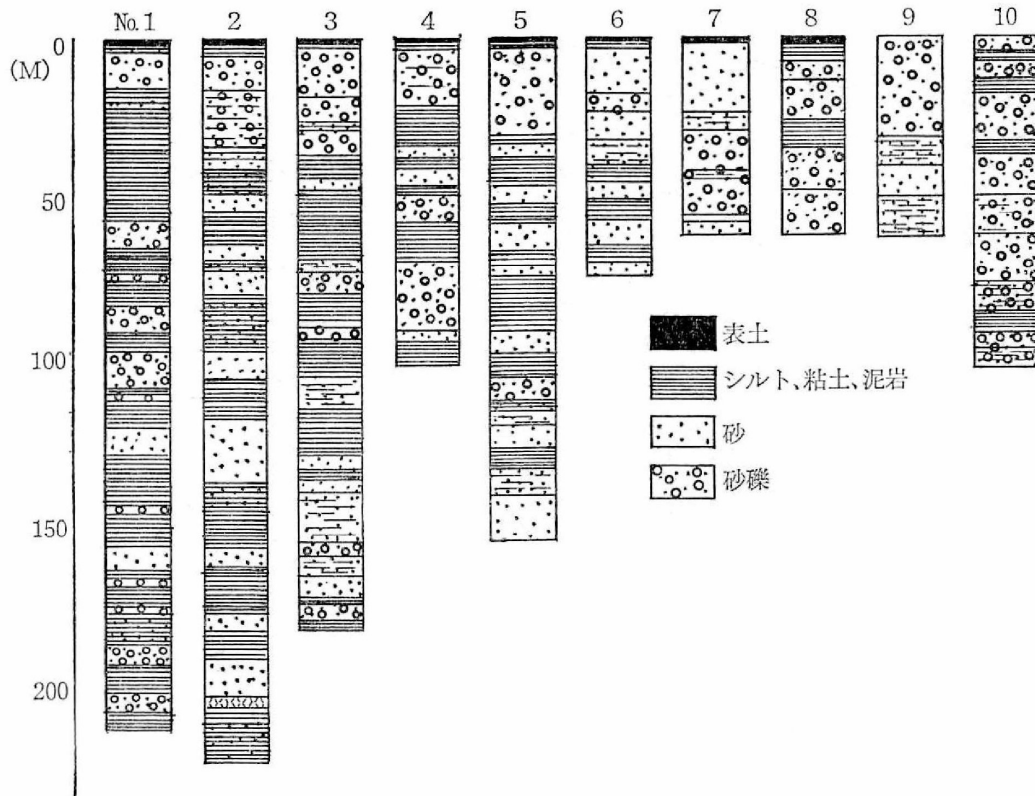
十日町盆地は信濃川中流に位置し、盆地を形成する段丘面は8面～10面に区分され、沖積段丘と洪積段丘に分けられます。段丘の基盤は魚沼層群からなり、沖積平野地下にも広く分布するので、良好な帯水層となっています。



十日町盆地の地形地質概略図

地下水

帯水層は、沖積段丘面では信濃川の河床砂礫層に、低位の洪積段丘面では魚沼層群の砂礫層にあります。高位の段丘面は魚沼層群の礫質分が少なくなるため、帯水層としては性能が落ちます。



十日町盆地井戸地質往状図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）